

# 令和5年度事業報告

## I. 事業報告総括

令和5(2023)年5月8日、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられ、全国的に平時の体制への移行が求められたが、訪問看護等在宅ケアにおいては、引き続きの感染対策が必要であった。また、令和6(2024)年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に向けた検討が行われた年でもあり、当財団の事業においては事業運営等を通じた政策提言・調査研究事業を重点的に実施した。

特に、骨太の方針2023にて打ち出された「構造的賃上げの実現」・「持続可能な社会保障制度の構築」・「医療DXの確実な実現」を踏まえ、「訪問看護師の処遇改善」・「多様化する医療・介護ニーズに対応する訪問看護や療養通所介護の更なる評価」・「24時間対応の負担軽減」等に対する報酬改定での措置や、令和6(2024)年12月に義務化となる訪問看護のオンライン請求及び資格確認の導入に向けた財政的支援について、訪問看護関係団体と協働して厚生労働省の関係部局への要望活動等を行った。また、令和6年1月の能登半島地震により被災された訪問看護ステーションへの事業継続支援事業を臨時で実施し、被災地域における訪問看護提供体制が維持できるよう支援した。

## II. 令和5(2023)年度事業の主な事項

1. 訪問看護等在宅ケアの質向上に関する教育等事業
  - ・Web配信研修に加え集合研修の再開による研修機会の充実
2. 訪問看護等在宅ケアの運営支援に関する事業
  - ・令和6(2024)年1月に発生した能登半島地震により被災した訪問看護ステーションへの事業継続支援事業を実施
3. 訪問看護等在宅ケア調査研究並びに事業運営を通じた事業等の開発・制度改善等に関する推進事業
  - ・事業運営においてBCP策定・ハラスメント対策委員会を設置し各種マニュアル等を策定
  - ・令和6(2024)年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定に対する要望
  - ・令和6年度報酬改定に関する緊急アンケート調査を実施し、退院当日の複数回訪問に係る評価の拡充に向け厚生労働省へ提出
  - ・訪問看護におけるオンライン請求・資格確認(医療保険)の導入に向けた財政的支援の要望及び訪問看護関係団体・厚生労働省と協働した周知広報
  - ・訪問看護師における生涯学習の推進方策に関する検討事業(3か年で取組)を開始
  - ・在宅看取り体制整備に資する訪問看護師向け在宅看取り教育プログラムの開発研究事業
  - ・国際交流として海外からの視察受入
4. 訪問看護等在宅ケアの調査研究等に対する助成事業(3件採択)
5. その他
  - ・訪問看護サミット2023の開催
  - ・財団設立30周年記念 訪問看護サミット2024の企画・調整(特設サイト作成等)
  - ・事務局内のDXに向けた検討

◎：令和5年度新規事業

**1. 訪問看護等在宅ケアの質向上に関する教育等事業**

**1) 訪問看護等在宅ケアに関する研修事業**

(1) Web オンデマンド研修	
① 令和4年度改訂版「精神障がい者の在宅看護セミナー」(届出要件を満たす研修)	開講期間：4月7日～令和6年6月14日 3月末の受講者数：11,078名
② 「精神科訪問看護に使えるアセスメント～GAF尺度による評価と看護モデル～」	開講期間：4月27日～令和6年3月23日 3月末の受講者数：162名
③ 「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」	開講期間：4月21日～令和6年6月19日 3月末の受講者数：2,263名 ※36都道府県看護協会及び2団体の訪問看護師養成講習会で活用されている。 ・令和6年度改訂版を「訪問看護人材養成基礎カリキュラム」に準拠して作成
④ 「令和4年度診療報酬改定(訪問看護関連)セミナー」	開講期間：4月21日～令和6年1月10日 3月末の受講者数：40名
⑤ 「令和3年度介護報酬改定(訪問看護関連)セミナー」	開講期間：4月21日～令和5年11月25日 3月末の受講者数：19名
⑥ 講義「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム」(初任者)	開講期間：5月2日～令和6年2月18日 3月末の受講者数：1,024名
(2) Web ライブ配信研修	
① 「今しか聞けない 請求業務の基本～本財団発行の「2022年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」を活用～(2日間研修)」	4月15日(土)及び4月22日(土)Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付者数：109名 アーカイブ配信期間：5月2日～5月22日 アーカイブ再生回数：366回
② 「進化生体医学にもとづくフィジカルアセスメント～人間の進化の過程から身体のしくみを理解し、生きる力を引き出す～」	5月20日(土)Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付者数：71名 アーカイブ配信期間：5月31日～6月14日 アーカイブ再生回数：157回
③ 「もう待たなし！スタッフ・利用者のいのちと暮らしを守るBCP策定」	6月17日(土)Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付者数：126名 アーカイブ配信期間：6月29日～7月18日 アーカイブ再生回数：117回
④ 「地域で暮らす認知症療養者のための多職種連携～その人らしく暮らし続けるために～」	7月22日(土)Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付者数：107名 アーカイブ配信期間：8月1日～8月16日 アーカイブ再生回数：170回
⑤ 演習「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム」(初任者)	(1) 8月26日(土)Web配信 申込受付者数：97名 修了者数：95名 (2) 10月21日(土)Web配信

	申込受付け者数：112名 修了者数：93名
⑥「小児訪問看護強化セミナー～未来につながる医療と教育～」	12月16日(土)Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付け者数：141名 アーカイブ配信期間：12月25日～令和6年1月10日 アーカイブ再生回数：182回
⑦ 認定看護師のためのフォローアップセミナー「地域共生社会における訪問看護事業の展開」	令和6年1月20日(土)Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付け者数：151名 アーカイブ配信期間：令和6年1月26日～2月9日 アーカイブ再生回数：105回
⑧「訪問看護師のためのメンタルヘルスケア」	令和6年2月17日(土) Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付け者数：73名 アーカイブ配信期間：令和6年2月26日～3月12日 アーカイブ再生回数：64回
⑨「令和6年度診療報酬・介護報酬の同時改定セミナー」	令和6年3月23日(土) Web配信(アーカイブ配信あり) 申込受付け者数：772名 アーカイブ配信期間：3月29日～4月22日 アーカイブ再生回数：855回
(3) 集合研修	
①「訪問看護師がおこなうリンパマッサージの基本と演習～一緒に療養者の苦痛を取り除きませんか～」	(1) 9月16日(土) 申込受付け者数：96名 (2) 9月17日(土) 申込受付け者数：95名

## 2) 訪問看護認定看護師の現任教育に関する事業

※認定看護師の質向上のためのフォローアップセミナーの開催

- 1) ⑦「地域共生社会における訪問看護事業の展開」 令和6年1月20日(研修事業にて詳細を再掲)

## 2. 訪問看護等在宅ケアの運営支援に関する事業

### 1) 電話等による訪問看護等在宅ケアに関する相談事業

- ・3月末までの総件数：6,123件(電話：4,047件・メール：2,043件・ファックス：33件)
- ・相談内容：8月～9月は新型コロナウイルス感染症関連の質問が多かった。全体としては精神科訪問看護、医療保険と介護保険の区分け、訪問看護指示書等に関する相談が多かった。詳細は末尾で報告。

### 2) コンサルテーション

#### (1) 訪問看護ステーション開設相談

来所・ZOOM・電話・メールによる開設相談 25件

#### (2) 療養通所介護コンサルテーション事業

療養通所介護・児童発達支援等の多機能型事業の開設・運営相談事業

※療養通所介護ひなたぼっこにて対応：1件(電話0件)

### 3) 講師派遣・紹介、運営委託による訪問看護等在宅ケアの教育支援事業

講師派遣件数(殆どがWeb研修：88件(事務局：45件、4訪問看護ステーションの合計：43件)

※財団役員・訪問看護ステーション管理者、訪問看護認定看護師等を講師として紹介・派遣

※訪問看護認定看護師等を紹介

### ◎4) 令和6年能登半島地震による被災事業所への事業継続支援事業

激甚災害指定地域(災害救助法適用地域)であって、事前の情報収集を通じ特に被害が大きいと判断された能登半島地域に所在する訪問看護ステーションに被害の状況に応じた支援金を交付

(計14カ所の訪問看護ステーションに対し、令和6年2月26日付 総額2,000万円を交付)

## 3. 訪問看護等在宅ケア調査研究並びに事業運営を通じた事業等の開発・制度改善等に関する推進事業

### 1) 調査研究に基づく情報提供

#### (1) 在宅看取り訪問看護師教育プログラム及び実施システム構築事業

《日本財団助成事業「訪問看護師向け在宅看取り教育指導者研修プログラムの開発」》

・第1～3回検討委員会：5月29日・9月13日・令和6年2月19日

・第1～4回ワーキング委員会：5月17日・6月26日・8月22日・令和6年1月29日

・PENUT演習の実施：8月26日・10月21日

・訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム指導者研修モデル事業：12月17日

・当該事業の結果をまとめた報告書を作成し、日本財団に提出、当財団Webサイトに掲載：令和6年3月(概要)

訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム(指導者)を作成し、指導者研修モデル事業を実施した(参加者49名)。参加者を対象としたアンケートでは、研修後に「ロールプレイにおけるファシリテーターの役割の理解」や「教育の方法」の得点が増加し期待した指導者養成の教育効果が示された。

修了者数：PENUT修了者467名/目標値723名、PENUT-T修了者58名/目標値80名(目標値は5カ年)

#### ◎(2) 訪問看護師における生涯学習の推進方策に関する検討事業

・第1～4回プロジェクト会議：7月13日・9月29日・12月7日・令和6年2月29日

・検討結果を取りまとめた報告書を作成し、当財団Webサイトに掲載：令和6年3月

(概要)

生涯学習に関連するガイドライン等や都道府県看護協会等の支援団体が策定する研修計画等を基礎資料とした検討結果をまとめ、それら結果に基づきプロジェクト会議にて検討した結果を報告した。基礎資料およびプロジェクト会議での検討では、研修は制度の枠組みに留まっていることや次年度のガイドラインの検討に向けて、訪問看護師に求められる特徴的な知識・技能、訪問看護師としてのキャリアの指針、成長過程にあわせた学習支援、学習内容に応じた研修方法や教材等を検討する必要性が示唆された。

#### (3) その他必要な調査研究

##### ◎①「自治体の委託を受けた訪問看護師が健康観察した新型コロナウイルス感染症陽性自宅療養者の状態と支援の実態」

・第1～2回検討委員会：7月10日・令和6年2月14日

・第1～2回ワーキング委員会：10月20日・令和6年2月9日

- ・Web アンケート調査実施：9月4日～9月18日
- ・ヒアリング調査実施：10月11日～11月6日

(概要)

新型コロナウイルス感染症が流行した際、多くの訪問看護ステーションで自宅療養者への健康観察を含めた看護の提供が行われていたが、その実態は明らかにされていなかった。自治体の協力も得て、健康管理に係る情報シート等を収集し、自治体の委託を受けた訪問看護師が健康観察した新型コロナウイルス感染症陽性自宅療養者の状態と訪問看護師の支援の実態を調査した。年齢や基礎疾患の有無等、様々な状態にある対象について、健康観察という一連の流れにおいて多角的なアセスメントを行い、自宅療養の継続が可能か等を判断し、対応する訪問看護の多様性が示唆された。

◎②「訪問看護師OJTガイドブック：訪問看護師学習支援プログラムOJTシートの活用状況と実践能力評価指標の妥当性の検討」

- ・第1～3回調査研究委員会：8月30日・10月16日・12月4日
- ・Web アンケート調査実施：9月14日～9月29日
- ・ヒアリング調査実施：11月2日～11月10日

(概要)

訪問看護師OJTガイドブックの活用状況の調査を通して、今後多くの訪問看護事業所で活用しやすいガイドブックとなるよう取り組みの必要性が示唆された。そのため、ガイドブック本体と各レベルのOJTシートの見直しを行った。

◎③「令和6年度報酬改定に関する緊急アンケート調査（会員対象）」

- ・Web アンケート調査実施：11月1日～11月13日

(概要)

10月10日開催された中央社会保険医療協議会で議論された退院支援指導加算について、退院当日の複数回訪問看護の詳細なデータに基づき検討する必要があるとの意見より、緊急で調査を実施し、結果を厚生労働省保険局医療課へ提出した。

(4) 研究倫理委員会の開催

○倫理審査提出題目

- ①「自治体の委託を受けた訪問看護師が健康観察した新型コロナウイルス感染症陽性自宅療養者の状態と支援の実態」
- ②「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム指導者研修モデル事業(日本財団助成事業)」
- ③「訪問看護師OJTガイドブック：訪問看護師学習支援プログラムOJTシートの活用状況と実践能力評価指標の妥当性の検討」

○委員会開催(Zoom会議を利用)

第1回：6月12日 第2回：7月18日

2) 事業の開発、情報提供及び行政への政策提言のための訪問看護ステーションの運営

(1) 4 訪問看護ステーション共通の取組

① 本財団事業の協力

- ・訪問看護の同行体験受け入れ
- ・訪問看護普及キャンペーン
- ・「訪問看護サミット2023」の企画・運営に参画

- ・ホームページの更新(月1回以上)
- ・実践上の課題解決の政策提言(訪問看護制度に関連する事例の提供など)

## ② 4ステーション共通のマニュアル作成および関連委員会の開催

虐待防止対策委員会：9月15日・令和6年3月14日

ハラスメント対策委員会：7月12日・11月21日・令和6年2月16日

BCP委員会：6月12日・10月16日・令和6年2月19日

## ③ 各種マニュアルの活用

- ・小児、障害者、高齢者を対象とした身体拘束虐待防止マニュアルの作成と研修等の実施
- ・カスタマーハラスメントのマニュアル作成と研修等の実施
- ・各事業所におけるBCPの策定と訓練・研修を通じた課題の検討

## (2) おもて参道訪問看護ステーション

### ① 自治体事業・外部委員会等への参画

- ・渋谷区医療的ケア児対応看護派遣(学校派遣)事業の受託
- ・渋谷区重症心身障害児(者)等在宅レスパイト事業の受託
- ・介護職(特定の者)への喀痰吸引の現地研修受託
- ・新型コロナウイルス感染者の訪問看護・健康観察訪問の継続(4月のみ)
- ・地域ケア会議への参加
- ・渋谷区訪問看護ステーション連絡協議会における災害対策を担当
- ・渋谷区ケアマネジャー連絡協議会主催「災害支援」研修出席：9月17日

### ② 公益活動

- ・地域住民への健康支援活動(けやき通り保健室)
- 定期的な保健室の開催/地域の運動会・盆踊りの救護班活動/介護者リフレッシュ交流会でのフットケア講習会の講師

### ③ その他

- ・看護学生の訪問看護実習受入
- ・海外からの視察の受け入れ バングラデシュ:11月28日、大韓看護協会:11月30日
- ・都立広尾病院看護師交互研修受け入れ
- ・介護職員の喀痰吸引等第3号研修実施
- ・訪問看護eラーニングの受講者研修受入

## (3) 刀根山訪問看護ステーション

### ① 自治体事業・外部委員会等への参画

(訪問看護)

- ・豊中市訪問看護ステーション連絡会受託事業(豊中市在宅医療・介護連携支援センター電話相談窓口業務、地域ケア個別会議への参加、新型コロナウイルス陽性者訪問)
- ・大阪府訪問看護ステーション協会の会議・事業への協力(ブロック会議、災害拠点ステーション活動、リハビリ対策検討部会、教育ステーション事業“ACP支援実践人材育成研修”ファシリテーターなど)

(居宅介護支援)

- ・豊中市事業者連絡会主催の各種会議、勉強会等への参加
- ・柴原地域包括支援センター主催の各種会議、勉強会等への参加

## ② 公益活動

- ・柴原小学校区 高齢部会への参加

## ③ その他

### (訪問看護)

- ・訪問看護体験、看護学生の訪問看護実習受入
- ・介護職員による喀痰吸引実地研修を随時実施

### (居宅介護支援)

- ・主任ケアマネジャー養成のための実習受入

## (4) あすか山訪問看護ステーション(赤羽支所含む)

### ① 自治体事業・外部委員会等への参画

- ・東京都訪問看護教育ステーション事業 体験研修、同行指導、北区ナーシングヘルスケアネット：  
6月30日・10月27日・2月16日
- ・小児地域連携会議：6月16日・1月15日
- ・東京都小児等在宅移行研修事業 児童発達支援事業所の見学後に訪問看護での同行研修
- ・北区在宅療養相談窓口事業 専門職からの相談に対応、北区在宅医療推進会議出席等
- ・介護職員による喀痰吸引実地研修を随時実施
- ・北区自立支援協議会委員
- ・東京都北特別支援学校運営協議会委員
- ・東京都在宅介護・医療協働推進部会委員
- ・東京都相談支援従事者初任者研修検討委員
- ・東京都相談支援従事者専門コース別研修検討委員

### ② 公益活動

- ・地域におけるケアネットワーク推進活動
- ・地域住民と協働したカフェ開催の運営、地域住民に向けた健康に関する講話
- ・地域支援事業によるあすか山新聞作成
- ・卓球バレー親睦会に参加：9月16日、「心が元気になるあーと展」を開催：11月2日～29日
- ・小児訪問看護を支える会 SUKUSUKU 事例検討会：4月21日・7月20日・11月16日・令和6年2月15日

### ③ その他

- ・認定看護師、認定看護管理者、専門看護師、看護大学生の訪問看護実習受入
- ・東京都ナースプラザ・特別支援学校からの研修受入
- ・厚生労働省老健局、保険局の看護技官等の訪問看護視察受入
- ・介護職員の喀痰吸引等第3号研修実施
- ・訪問看護eラーニングの受講者研修受入

## (5) 在宅ケアセンターひなたぼっこ

### ① 自治体事業・外部委員会等への参画

#### (訪問看護)

- ・愛媛県訪問看護協議会、愛媛県看護協会委員
- ・市町村が開催する会議等の委員（地域ネットワーク推進活動、看護介護連携推進活動等）
- ・松山市医療的ケア児支援検討会委員

- ・愛媛県自立支援協議会医療的ケア児支援部会委員
- ・愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会委員  
(相談支援)
- ・全国手をつなぐ育成会連合会機関誌「手をつなぐ」編集委員
- ・市町村事業の各委員（松前町介護給付等審査会、松前町福祉計画策定、伊予市福祉計画策定、伊予市障害支援区分判定等審査会、久万高原帖地育総合支援協議会）
- ・自立支援型ケアマネジメント検討会議委員
- ・文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」協議会委員
- ・厚生労働省難病等制度推進事業「移行期医療支援実態調査」愛媛県移行期医療支援モデル事業委員
- ・伊予郡松前町相談支援事業

② 公益活動

- ・看護協会主催 地区別タウンミーティング委員会にて多職種連携、研修会協力
- ・愛媛県訪問看護協議会理事として訪問看護ステーションの連携、看護師の教育支援
- ・小野久米地区OK リンク部会

③ その他

- ・看護学生実習受入
- ・訪問看護養成基礎研修受講者の研修受入
- ・聾学校、特別支援学校等の学生の就労経験実習受入
- ・介護職員の喀痰吸引等第3号研修及び実地研修を随時実施
- ・全国手をつなぐ育成連合会機関紙「手をつなぐ」への寄稿（アート・障がい医療について等）

(5) 訪問看護ステーション等別の実績

訪問看護ステーション別実績

区 分	訪問看護ステーション			
	おもて参道	刀根山	あすか山	ひなたぼっこ
延べ訪問回数	6,773 回(6,859)	8,329 回(8,811)	14,666 回 (16,455)	7,714 回(7,300)
1ヶ月平均訪問回数 (実績)	564 回(571)	694 回(726)	1,222 回(1,370)	642 回(608)
訪問看護従事者数 (常勤換算人員)	7.5 人(7.5)	11 人(10.3)	14.1 人 (17.5)	9.7 人(10.2)
実習受け入れ	延 93 人	延 81 人	延 240 人	延 63 人
講師依頼	1 件	4 件	25 件	13 件

注) ( )内は令和4年度実績 延べ訪問回数はレセプト算定分を計上



居宅介護支援・療養通所・相談支援・就労支援別実績

区分	居宅介護支援・療養通所・相談支援・就労支援									
	刀根山	あすか山			ひなたぼっこ					
	居宅介護 支援	居宅介 護支援	相談 支援	相談 支援	療養 通所	児童	放課後 デイ	生活 介護	地域 生活	就労
延べ利用者数	1,319人 (1,083)	453人 (454)	999人 (882)	522人 (195)	15人 (13)	75人 (41)	182人 (196)	79人 (31)	12人 (3)	115人 (106)
延べ訪問回数	1,393回 (1,197)	574回	281回	565回	82回 (92)	303回 (242)	645回 (660)	365回 (252)	22回 (10)	1,705回 (1,541)
1ヶ月平均訪問回数(実績)	116回 (99.7)	38回	47回	47回	5.4回	4回	6.7回	8.9回	4.4回	142回 (128)
従事者数 (常勤換算人員)	3.00人 (3.00)	1.8人 (1.8)	2.2人 (2.7)	1.0人 (1.0)	16.0人 (13.95)					4.7人
実習受け入れ	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
講師依頼	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0

注) 下段( )内は令和4年度実績 延べ訪問回数はレセプト算定分を計上

3) 国際交流事業

- ・韓国 京畿道保健健康局等から14名(行政関係者、医師、看護師、理学療法士等)が参加。制度に関することや現場での対応等それぞれの立場に応じた質問対応：6月2日
- ・北京整合医学会とのビデオ交流会議に6名参加し、中国及び本邦における在宅医療、訪問看護の現状について情報交換：9月5日
- ・デンマークから在宅ケアコンサルタントのレーネ・ホレンナー氏来日。財団役員職員20名がデンマークの在宅ケアの実際に関する講義を受講：11月16日  
リハビリテーション看護の実践と普及・エビデンス作成に向けて数名で意見交換会：11月25日
- ・JICA 技術協力プロジェクト「バングラデシュ看護サービス人材育成プロジェクト本邦研修」への協力。18名を受入：11月28日
- ・大韓看護協会訪問団7名(看護協会政策局2名、顧問1名、看護大学教授等4名)来日：11月27日～12月1日  
日本看護協会国際部の依頼により訪問看護関連施設の視察先の選定・交渉を実施。看多機「ゆらりん」視察同行：11月29日  
講義と質疑及びおもて参道訪問看護ステーションの見学を受入：11月30日
- ・大韓看護協会100周年を記念して韓国国会議員会館にて開催されたシンポジウムに招聘され「日本の訪問看護」を紹介：12月22日

4) 訪問看護等在宅ケア領域における政策提言

(1) 令和6(2024)年度報酬等同時改定に対する要望

- ・厚生労働省保険局長及び老健局長に対し、令和6年度診療報酬改定及び介護報酬改定に関する要望書を手交：6月15日(当該要望については、当財団単独要望の他、日本看護協会・全国訪問看護事業協会との3団体連名での要望も実施)

- ・介護給付費分科会にて「療養通所介護」についてヒアリング対象団体となり意見陳述：10月2日
- ・中医協にて議論となった退院日の複数回訪問について緊急調査を実施（再掲）

## (2) オンライン請求・オンライン資格確認のシステム構築の推進

- ・制度所管省庁である厚生労働省担当部局との制度開始に向けた協議を継続
- ・厚生労働省保険局担当課と、日本看護協会・全国訪問看護事業協会・当財団がオンライン請求等のオンライン説明会（ライブ配信）に出席：11月8日

## (3) 医療的ケア児や重症心身障害児者の地域生活支援に関する政策提言

- ・療養通所介護および児童発達支援等の事業を運営する者による交流会を開催：9月21日
- ・上記交流会を通じて明らかとなった生活介護や児童発達支援事業等のサービス管理責任者等に係る要件について、社会・援護局障害保健福祉部長に要望書を手交：10月10日

## (4) 訪問看護ステーションの看護データの活用の推進

- ・自民党看護問題小委員会において、令和5年度補正予算、令和6年度予算要求に向けて訪問看護ステーションと医療機関等における電磁的な情報連携の促進や訪問看護師の処遇改善等を要望：9月8日

## 4. 訪問看護等在宅ケアの調査研究等に対する助成事業

訪問看護等在宅ケア実践の質向上等の調査研究事業に対する助成と調査結果等の活用  
選考委員会をWebと対面により開催。6件の応募について審査した結果、3件を採択：5月8日

[採択テーマ]

- ・在宅領域で活動する特定行為研修修了者の看護実践  
研究代表者：後藤 智美（生協浮間診療所）
- ・医療的ケア児の児童発達支援または保育所等の利用に対する親の認識の構造  
研究代表者：林 恵（群馬パース大学看護学部）
- ・「在宅看取り語りの場」が地域住民の在宅看取りへの認識に与える影響  
研究代表者：矢口 亜希子（公益社団法人長野県看護協会）

## 5. その他 本財団の目的を達成するために必要な事業

### 1) 広報事業

#### (1) 財団機関紙の発行と配布

- ・雨による破れや汚れ防止・ウイルス感染拡大防止のため、発送方法を第3種郵便から透明OPP封筒での送付に変更。財団事業チラシ等の同封も可能となり、効率的な広報展開に転換
- ・財団機関紙 編集会議の開催、毎月発行11回（8月除く）
- ・累計発行部数：210,700部

#### (2) 「令和6年度日本訪問看護財団事業のご案内(The Home Care 2024)」の発行・令和5年度版の活用

- ・75,000部発行（令和6年2月15日発送）

#### (3) ホームページ等による情報発信の充実

- ・公式サイトによる情報発信（ホームページアクセス数：771,423件）
  - －本財団からの情報提供、訪問看護関連の最新情報や厚生労働省の通達等を都度掲載(129件)
  - －「令和6年度診療報酬改定・介護報酬改定の各種通知」ページの開設：令和6年2月
  - －「オンライン資格確認・オンライン請求専用サイト」の開設：令和6年11月
  - －「財団設立30周年特設サイト」の開設準備（令和6年4月1日）

- ・会員サイトの充実（FAQの更新等）
- ・療養通所介護ブログの更新等

#### (4) 在宅ケアに関する小冊子等の配布

- ・小冊子「こんにちは訪問看護です」等の無料配布

#### (5) 感染防護具支援プロジェクト協力団体交流会

- ・令和5年度感染防護具支援プロジェクト協力団体交流会の開催：令和6年2月29日
- ・「自治体の委託を受けた訪問看護師が健康観察した新型コロナウイルス感染症陽性自宅療養者の状態と支援の実態」のwebアンケート調査結果の報告

### 2) 広報の強化に関する検討

- ・5月12日の看護の日に合わせて「訪問看護普及キャンペーン」を実施するため会員へPR促進グッズ(ポスター、チラシ、クリアファイル等)の無料提供を実施
- ・団体会員112社から応募があり、イベントを利用した「健康相談」ブースを開設するなど各地域や状況に応じて「訪問看護」のPRを実施

### 3) 印刷物発行・監修等及び販売事業

#### (1) 書籍の編集・発行、改訂、販売促進

専門図書、小冊子等の作成・販売

##### ○本財団発行

- ・「2022年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」(販売)：628冊
- ・「QJTガイドブック」(販売)：332冊
- ・「QJTシート」(販売)：285冊
- ・「日本版成人高齢者用アセスメントケアプラン(財団方式)展開テキスト」(販売)：734冊
- ・「訪問看護サービス」(販売)：43冊
- ・「訪問看護サービス質評価のためのガイド」(販売)：77冊
- ・「訪問看護でがんばるあなたへ」(販売)：30冊 など

##### ○出版社発行

- ・中央法規：「訪問看護お悩み相談室 令和4年改定版」(販売)：158冊
- ・中央法規「高齢者の維持機能・向上をめざす看護ケア」(販売)：6冊
- ・中央法規「緩和ケアと看取りの訪問看護」他(販売)：28冊
- ・中央法規「はじめての訪問看護」(販売)：8冊
- ・中央法規「訪問看護報酬請求マニュアル」(販売)：25冊
- ・中央法規「精神科訪問看護テキスト」(販売)：15冊
- ・中央法規「Q&Aでわかる 訪問看護ステーションの起業・経営・管理」(販売)：6冊
- ・日本看護協会出版会：「新版 訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル第4版」(販売)：28冊
- ・日本看護協会出版会「訪問看護基本テキスト 総論編」(販売)：1冊
- ・ミネルヴァ書房「介護職員のための医療的ケア」(販売)：4冊
- ・ワールドプランニング「イラストで学ぶ認知症の人の生活支援」(販売)：5冊

## (2) 訪問看護 PR 用ポスター、小冊子作成、配布

無料冊子等(再掲)

- ・「こんにちは！訪問看護です」
- ・「低栄養予防のお助けブック」
- ・「栄養不足で痩せたら大変！！」

## (3) 「日本の訪問看護サービス」(日本語・英語・中国語・韓国語版)改訂・活用

- ・「訪問看護のこれからと現状」データを2024年版に更新、PDF版はホームページからダウンロード可能
- ・中国語版の「訪問看護」等の表記方法の見直し、一部改訂を行った

## (4) 帳票・記録用紙の印刷・販売、感染防護具の販売等

- ・帳票・記録用紙の改訂・印刷・販売他：2,131部 2,497部
- ・感染防護具基本セット：18セット

## 4) 訪問看護等在宅ケア関連職種間の連携促進事業

### (1) 「訪問看護サミット2023」の開催

【開催日時】令和5年11月11日(土)13時～17時 【開催地】東京(Web配信)

- ・招待138名、一般415名、企業21件、報道関係18件
- ・アーカイブ配信期間：11月末からR6年1月末まで配信

【テーマ】自由で豊かな共生社会の構築～訪問看護の力をどう発揮するか～

【プログラム】

〔開会の挨拶〕 田村やよひ当財団理事長

〔特別講演〕「誰にも優しいユニバーサルデザイン～心の目線を合わせる～」

星川安之氏 公益財団法人 共用品推進機構 専務理事

〔対談〕「誰もが安心して認知症になれる社会を目指して」

丹野智文氏 おれんじドア実行委員会 代表／一般社団法人 認知症当事者ネットワークみやぎ  
代表理事

山国秀幸氏 株式会社ワンダーラボラトリー 代表取締役／

映画「オレンジ・ランプ」原作・脚本 映画プロデューサー

〔教育講演〕「産学官民でのフレイル予防のあれこれ」

飯島勝矢氏 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長／未来ビジョン研究センター 教授

〔鼎談〕「地域ぐるみの支えあいで、健やかに生き安らかに逝く」

<講演>

- 「この街に寄り添って一支援・支えられていること」

平野智子氏 NPO 法人訪問看護ステーションコスモス 所長(ライブ配信)

- 「生涯を通じて地域住民に伴走する看護を目指して」

吉江悟氏 一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事／ビュートゾルフ柏 看護師・保健師

- 「つなぎ・つながる地域づくり」

平原優美 公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事

<鼎談>(ライブ配信)：スタジオライブ 参加 平野智子氏／ZOOM オンライン参加 吉江悟氏／

スタジオライブ 参加 高橋洋子(司会)

〔閉会の挨拶〕 佐藤美穂子 日本訪問看護財団常務理事

※訪問看護サミット2023 実行委員会4回開催、機関紙に関連記事連載5回、カラー資料集650部作成・配付

## (2) ホスピタルショウ等への出展

国際モダンホスピタルショウ、日本看護協会の総会における訪問看護のPRは新型コロナウイルス感染症拡大のため出展中止

## (3) 一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会事務局運営受託

一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会事務局運営を受託

○日本財団助成事業「訪問看護認定看護師による在宅ケア・在宅看取り活動の推進」

① 理事会・理事ブロック長合同会議

② 総会・交流会の開催

③ 各活動支援(ブロック活動・地域向け研修会・コンサルテーション活動(ミニ講座&座談会/BCP作成支援/メール相談)、活動申請書~報告書管理、活動内容調整の補助、経費支払等を実施

④ その他事務局業務(会員管理、HPの情報更新、各種レポートのアップ、日本財団報告書の作成等)

## (4) 療養通所介護・児童発達支援事業等の推進

・(再掲)第4回交流会を開催(75名参加)

[テーマ]療養通所介護の運営の実際~自由で豊かな共生社会の構築に向けて

実践報告と意見交換を実施:9月21日

・療養通所介護ブログにおいて、令和6年度介護報酬改定、障害福祉サービス等報酬改定に関するQ&Aを掲載、情報発信

## ◎(5) 日本訪問看護財団設立30周年記念事業

《「訪問看護サミット2024」の開催準備》

・日程、プログラムの概要検討

・業務委託先決定 コンベンションリンクージ契約締結:令和6年1月31日

・契約前打合せの実施:9月7日、11月30日

・コンベンションホール下見:10月20日、11月8日

《30周年記念特設サイト制作》

・委託先決定 株式会社Revision 契約締結:令和6年1月16日

・Webコンセプト及びコンテンツの検討及び決定、サイトマップ案を委託先へ提示し、委託先からの提案内容(ワイヤーフレーム・デザイン、アニメーション等)を検討

・Webサイトメインカラーに関するアンケート実施 全職員対象:令和6年2月9日~2月15日

・各コンテンツ原稿作成及び入稿~校了

・訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師の事例募集

(日本訪問看護認定看護師協議会会員対象:12月12日~令和6年1月31日、応募数11事例)

・事例ごとのヒアリング(令和6年2月7日前田幸代様・2月28日大山晴美様・3月22日矢出装子様)

《訪問看護ステーションのルポ》

・第1弾 京都府 伊根町への取材:7月24日~27日。記事作成~入稿

・第2弾 大阪府 ハートフリーやすらぎへの取材:令和6年3月12日~13日

財団ロゴ・キャラクター制作

・委託先決定 株式会社Revision 契約締結:令和6年1月16日

・キャラクターに関する実施 全職員対象:7月5日~7月12日

- ・キャラクターデザインの募集実施 全職員、利用者対象：10月2日～11月30日
- ・ロゴに関するヒアリング実施 幹部職員対象：12月
- ・各アンケート結果を集計して財団の要望をまとめ、委託先へ提出
- ・ロゴ・キャラクターを使った記念品の検討

**(6) 訪問看護推進連携会議(日本看護協会、日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会)への参画**

- ・改正感染症法について 3団体合同会議：4月7日
- ・日本看護協会「訪問看護サービスの提供体制のあり方」意見交換会に参加：  
第1回10月3日・第2回10月24日・第3回11月16日・第4回12月25日

**(7) 看護系学会等社会保険連合(看保連)に参画**

- ・看保連総会に出席：6月30日
- ・令和5年度第1回介護報酬のあり方に関する検討委員会：令和6年3月14日

**(8) その他行政、関連学会、団体等との連携**

その他関連学会、団体等との連携・出席(一部掲載)

- ・もの・こと・思い研究所理事会：4月11日
- ・日本看護協会主催：看護の日イベント：5月7日
- ・日本栄養士会主催研修会へ講師派遣：5月25日
- ・日本ケアマネジメント学会理事会：5月26日ほか4回
- ・日本看護協会令和5年度通常総会：6月7日
- ・全国訪問看護事業協会令和5年度総会：6月16日
- ・第1回新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会：  
7月6日ほか1回
- ・日本在宅ケアアライアンス主催「日本在宅ケア・サミット2023」：7月22日
- ・フランスベッドメディカルホームケア研究助成財団(現フランスベッド・ホームケア財団)理事会：  
5月30日ほか3回
- ・在宅医療助成勇美記念財団主催「第18回在宅医療推進フォーラム」：11月23日
- ・東京都看護人材確保対策会議：10月2日ほか1回
- ・東京都在宅医療推進フォーラム：令和6年1月20日
- ・第75回結核予防全国大会研修集会：令和6年3月15日
- ・関連団体の委員会委員派遣(日本看護協会、全国訪問看護事業協会、日本在宅ケアアライアンス、デベロ  
老人福祉研究所(訪問入浴介護)、三菱総研、名古屋市在宅療養サービス事業団、浴風会評議員会等)

**4) 会員に関すること**

**(1) 賛助会員に関すること**

令和6年3月末現在の実績は、前年度対比(年度末)個人会員が100.4%、団体会員が107.6%  
個人会員、団体会員ともに増加。保険加入に伴う団体会員の増加と事業所が増えることによる特別団体会  
員から法人会員への移行が増加。

賛助会員加入状況(3月末日現在)

会員種別	会 員 数		
	令和5年度	令和4年度	対前年度
専門職会員	1,528名	1,512名	16名 101.1%
一般会員	29名	32名	▲3名 90.6%
学生会員	5名	11名	▲6名 45.5%
専門職能団体会員	52名	51団体	1団体 102.0%
法人会員	404法人	342法人	62団体 118.1%
特別団体会員	2,837団体	2,667団体	170団体 106.4%
合 計	個人会員	1,562名	1,555名 7名 100.4%
	団体会員	3,293団体	3,060団体 233団体 107.6%

(2) 会員サービスの充実

会員通信サービス(Eメール) 配信

配信日：4月7日・4月18日・6月19日・7月11日・8月1日・9月4日・9月14日・9月21日・  
10月12日・10月24日・11月1日・11月7日・11月9日・2024年1月5日・1月29日・  
2月14日・3月4日・3月26日

会員専用サイト(財団機関紙バックナンバー、訪問看護FAQ集、各種様式集・冊子等)の活用

(3) 会員活動支援

PR促進グッズ(ポスター、チラシ、クリアファイル等)の無料提供

5) 訪問看護・在宅ケアに従事する者の福利厚生に関する事業

※あんしん総合保険制度の普及と活用の広報

財団会員である訪問看護従事者の福利厚生事業「あんしん総合保険制度」の普及  
(賠償責任、什器損害補償、傷害、感染症見舞金、サイバーセキュリティ)

6) 寄付金に関すること

(1) 一般寄付金の募集

寄付の受入状況(令和6年3月末日現在)

区 分		受納延べ件数	寄付金受納額
令和5年度		9件	1,265,000円
参 考	令和4年度	8件	2,615,060円
	令和3年度	6件	11,360,240円
	令和2年度	14件	10,687,000円
	令和元年度	5件	200,000円

※令和5年度内訳(一般会計9件※うち4件700,000円は能登半島地震による被災事業所への事業継続支援特別会計0件)

※公益財団法人である本財団への寄付金は税金控除の対象となる

## 7) 会議の開催

### (1) 理事会・評議員会など

#### ① 理事会の開催

- ・第1回理事会の開催 Web 開催(一部集合) : 6月1日  
以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された
  - － 令和4年度事業報告
  - － 令和4年度収支決算
  - － 事務局長の選任
  - － 評議員開催日時等の決定 : 6月16日に決定
- ・第2回理事会の開催 書面によるみなし決議の理事会を開催した。決議の日 : 7月18日
  - － 副理事長の選定 : 高橋弘枝理事 (公益社団法人 日本看護協会 会長)
- ・第3回理事会の開催 書面によるみなし決議の理事会を開催した。決議の日 : 9月2日
  - － 細野純評議員の辞任に伴う評議員の選任案 : 高瀬裕志氏 (日本歯科医師会)
  - － 小松洋子理事の死亡辞任に伴う理事の選任案 : 萱間真美氏
- ・第4回理事会開催 電磁的方法よりみなし決議を開催した。決議の日 : 令和6年2月9日
  - － 令和6年能登半島地震による被災事業所への事業継続支援事業について
- ・第5回理事会開催 Web 開催(一部集合) : 令和6年3月18日
  - － 令和6年度事業計画
  - － 令和6年度収支予算
  - － 資金調達及び設備投資の見込み・資金運用の執行方針及び計画
  - － 諸規定等の一部改訂
  - － 役員の賠償責任保険の内容

#### ② 評議員会の開催

- ・第1回評議員会 Web 開催(一部集合) : 6月20日  
以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された
  - － 令和4年度事業報告
  - － 令和4年度収支決算
  - － 評議員の選任
  - － 理事の選任
- ・第2回評議員会 書面によるみなし決議の評議員会を開催した。決議の日 : 9月20日
  - － 理事の選任 : 高瀬裕志氏 (日本歯科医師会)、萱間真美氏

③ 会計監査 : 5月17日・12月7日

④ 監事監査 : 5月24日・12月21日

### (2) 在宅看護専門委員会

外部委員5名 (川越正平氏、萱間真美氏、柴田美奈子氏、永田かおり氏、堀川尚子氏)

内部委員8名 (財団役職員 (訪問看護ステーション管理者含))

上記構成委員により財団事業の評価・事業計画案の骨子を検討 : 令和6年2月1日

## 8) その他 必要な事業

### ◎効率的・効果的な事業運営に関すること



### (1) 業務改善プロジェクトチーム立ち上げ検討開始

- ・全国的にDX推進が図られる中、当財団においても業務改善タスクフォースを立ち上げ。研修運営システム、会員管理システム、書籍等販売管理に係る業務について各課題を抽出。各種システムの更改の方向性を検討・決定し、令和6年度事業予算としてシステム更改のための費用を計上。具体的な更改作業は令和6年度に取り組む予定

### (2) 財団会員サービスの充実

- ・全国的に事業計画案等を周知・広報する毎年度2月発刊の「The Home Care」送付に合わせて、会員及び非会員を対象とした「財団事業の品質向上のためのwebアンケート」を実施。令和6年4月15日をアンケート締切日としており、結果については次年度において報告予定

《補足情報：受託事業一覧（詳細は会計報告を参照）》

令和5(2023)年度 受託事業等一覧表 (単位：円)

区分	事業名	委託(助成)額	事業費総額
公財) 日本財団 (助成金事業)	2023年度「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラムの開発」 (返還:438,000円)	8,622,000	10,777,767
一社) 日本訪問看護 認定看護師協議会 (委託事業)	訪問看護認定看護師および在宅ケア認定看護師による在宅ケア・在宅看取り活動の推進	2,000,000	2,000,000
東京都 (委託事業)	令和5年度東京都訪問看護教育ステーション事業 実施：あすか山訪問看護ステーション	2,741,581	2,741,581
東京都 (委託事業)	令和5年度東京都小児等在宅移行研修 実施：あすか山訪問看護ステーション	1,623,540	1,623,540
東京都北区 (委託事業)	令和5年度北区在宅療養相談窓口事業運営委託 実施：あすか山訪問看護ステーション	6,000,000	6,000,000
合計		20,987,121	23,142,888

※訪問看護事業等の運営に係る補助金を除く

# 令和5年度(2023年度)電話相談内容別件数

